

今までに入らなかったのは

パターのせいだった!

「MARS REX(マーズレックス)」を 手に入れた瞬間、あなたのゴルフは一変する!

『正しい構えを作り出すための
パターなのです。』

MARS REX

形状や長さなど、様々なタイプのパターが出回っているが、それらがバッティングに与える影響を、あなたはどれだけ認識しているだろうか? “パットに形なし”という言葉があるように、とかく感覚的な部分にとらわれがちなバッティングだが、その誤った考えが多く、色々な悩みの種を植え付けているのだ。しかし、そんなバッティングの悩みを一気に解消する画期的なパターが登場した。それが、この「MARS REX(マーズレックス)」である。今までのパターとどこが違うのか? このパターを設計したゴルフ科学研究所・代表の佐久間馨さんにこのパターの秘密を伺った。



佐久間 馨さん
1955年2月13日生
機械のエンジニアとして20年間のサラリーマン生活を送りながら、合理的なゴルフスイングを研究。ロケットの姿勢制御の知識などを基に、世界唯一のスイング記憶ロボットを開発。現在は、(有)ゴルフ科学研究所代表取締役。

記者:「MARS REX(マーズレックス)」が誕生した背景を教えてください。

佐久間:「パターはショットと違ってグリーン上をボールが二次元的な軌道を描きます。(厳密に言うと打ち出した直後にはボールは空中を飛んでいます)つまり打ち出す方向と速度がそのバッティングの良し悪しを決定します。カップインするための正しいラインが読めないとしても正しい方向に打ち出すことができればカップインできます。しかしグリーンに対して正しくパターをセットすることができないものが市販されているパターには存在しないことがわかったのです。プロや上級者の多くはグリーンコンディションや日々変わる目の錯覚を考慮してパターを調整したり、取り替えています。しかし多くのアマチュアはそのような調整を行わずに正しく構えにくいパターを使用しています。そうであるならば正しい構えを教えることができるパターにすべきではないかと考えたので「MARS REX」を開発しました。

記者:「MARS REX」が、市販されているパターとどこが違うのでしょうか?

佐久間:まず、パターのソールを完全にフラットに設計しました。多くの市販されているパターは、色々な打ち方を許すプレーヤーに合うようにソールが丸みを帯びています。このようなパターをグリーンに置いたときフェース面はあらゆる方向を向いてしまうので、意図した方向に安定して向けることが難しくなってしまうのです。「MARS REX」の平らなソールをグリーン上にピッタリと合うようにセットすることで、そこが基準となりグリッパエンドの3次元的な位置を決めることができます。そこで決まったグリッパエンドの位置に合わせて身体をセットすることにより再現性を高めることができます。

記者:なぜ、そこまで精度にこだわるのですか?

佐久間:クラブには道具として必要な角度・長さ・重さがあります。角度とはロフト・ライ角・シャフト角のことです。(シャフトが垂直よりも傾いた場合、ボール後方へ傾いて取付けているかを表す角度)「MARS REX」はソールをグリーン上にピッタリ置いたときに適正な角度になるように設計しています。しかし一般量産品は色々な形に置けるように設計されていて打つたびに角度が変わってしまうのです。

記者:では、その角度について教えてください。

佐久間:精度にこだわった「MARS REX」を語る上で、最も重要な要素は「SKID THEORY(スキッドセオリー)」という理論を実践するために開発されたという点です。

「スキッドセオリー」という言葉自体、一般ゴルファーにとって、聞きなれないものだと思いますが、プロゴルファーやトップアスリートのバッティングを研究していく中で導き出された、より



SKID THEORY (スキッドセオリー)とは?

効果的なバッティング理論なのです。(本理論の詳細は下記の図を参照)
記者:「SKID THEORY」はどのような理論に教えてくださいますか?

佐久間:通常パターには、ヒットした直後に起こるグリーン面の芝との初期抵抗を最小限に抑えるためロフトが付いています。ミクロ的に見ると、ロフトのついたパターの軌道がレベルやダウンブローでヒットされた場合、空中に浮いたボールにはバックスピが生じ着地した際の抵抗となります。またダウンブローの度合いが強く空中に浮かないボールは芝の抵抗を強く受け、安定した距離を得ることができません。

安定した転がりを得るには、ノースピンで空中に打上げ、着地後に回転転がりにする必要があります。

そこで、パターヘッドの軌道を、ロフトと同じだけアップブローにすることで、ボールをノースピンで打ち上げることができるようになります。

しかし、シャフトの角度が、ヘッドに対して垂直であるパターヘッドの軌道はレベルブローになりやすくなってしまうのです。

また、シャフトをロフトと同じ角度に同じようにセットすることで、ロフトと同じ角度のアップブローを作り出すことができるようになったのです。これにより、ヒットされたボールはノースピンで打ち出され、着地後、回転転がりに対して安定した転がりが約束されるようになります。

「スキッドセオリー」と呼ばれるものがあり、「その理論を実践できるパターは「MARS REX」です。」

記者:「MARS REX」は、実際のどのような設計になっているのですか?

佐久間:「MARS REX」の標準形についてお話しすると、ロフト3度・ライ角72度・シャフト角3度・長さ34インチ・総重量524g・D5に設計されています。これは日本のゴルフ場の通常営業のグリーンの状態(35mm-55mmカット・ステインプメーターで8-10フィートの速さ)を想定した仕様です。

また、理想的な「スキッドセオリー」が実現できる。これこそが、他のパターにはない、本物のやさしさを実感できる理由といえるでしょう。

■ここで、パターヘッドの軌道を、ボールの重心とコンタクトポイント(ロフトと同じだけのアップブローにする)ことで、ボールをノースピンで打ち上げることができる。

■しかし、ロフトのついたパターヘッドの軌道が水平方向から見てレベルブロー・ダウンブローになってコンタクトした場合は、飛び出したボールにはバックスピが生じ、着地した後は、バックスピが抵抗となり、安定した距離を得ることができません。

■安定した転がりを得るために、ボールをノースピンの状態で打ち出し、着地後から回転転がりにする。

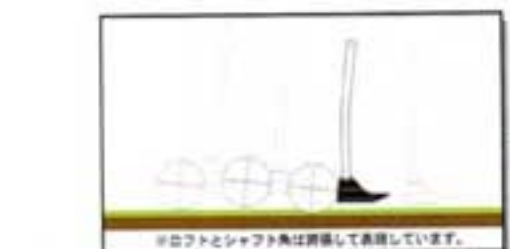
MARS REX	
ライ角	72度
ロフト	3度
シャフト角度	3度
ヘッド	SCM415(機械構造用合金鋼) 硬質クロムメッキ
ヘッド重量	345g
総重量	524g
シャフト	オリジナルパターシャフト
価格	5万8000円(税別)



「SKID THEORY」を実践して「MARS REX」を合理的に使用するためのセットアップや打ち方を解説したビデオがパッケージされています。「SKID THEORY」については、ホームページでも詳しく解説していますのでアクセスしてみてください。

グリーンスピードがステインプメーターで8~10feet用に設計されています。

より高速なグリーンに合わせた仕様もオーダーできます。ご相談下さい。



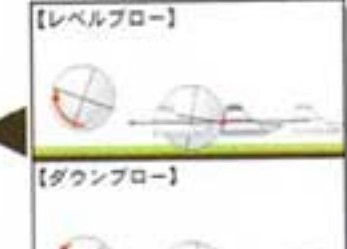
■この理論によって打ち出されたボールは、ノースピンで打ち出され、着地後は回転転がり、常に安定した転がりが約束される。「MARS REX」はこの「スキッドセオリー」を実践するために開発されたパターである。



■シャフトを水平面から見て垂直の構えでストロークすると、パターヘッドの軌道はレベルブローになりやすい。そこでシャフト角をロフトと同じだけつけることにより、ロフトと同じだけのアップブローを作り出すことができる。ここで重要なことは、シャフト角とロフトは同じ向きであること。



■ここで、パターヘッドの軌道を、ボールの重心とコンタクトポイント(ロフトと同じだけのアップブローにする)ことで、ボールをノースピンで打ち上げることができる。



■しかし、ロフトのついたパターヘッドの軌道が水平方向から見てレベルブロー・ダウンブローになってコンタクトした場合は、飛び出したボールにはバックスピが生じ、着地した後は、バックスピが抵抗となり、安定した距離を得ることができません。

ご注文・問い合わせ先
株式会社イクダ
TEL 0120-82-7667 <http://www.marsrex.com>
送料は全国一律1,000円です。お支払方法は、代金引換・クレジットカード・銀行振込・コンビニ決済がご利用いただけます。
ゴルフ科学研究所 TEL.03-5701-7725
<http://www.golfkagaku.co.jp>